

平成30年度 那覇市在宅医療・介護連携推進事業 セルフ・ネグレクトに関する研修会

○日 時：平成31年1月11日（金） 午後7時00分～8時30分

○場 所：那覇市医師会・4階ホール

○参加者：95名（医師5名、看護師4名、保健師18名、リハビリ3名、薬剤師1名、
ケアマネージャー・ケアプランナー30名、認知症地域支援推進員4名、
社会福祉士18名、MSW1名、精神保健福祉士2名、歯科衛生士2名、
心理士2名、その他5名）

○司 会：高江洲 あやこ 氏（那覇市在宅医療・介護連携支援センター ちゅいしーじー那覇）

●演 題：『セルフ・ネグレクト ～支援を求めない人にどう対応するか～』

講 師：岸 恵美子 氏（東邦大学看護学部 看護学研究科 教授）



司会：高江洲 あやこ



講師：岸 恵美子 氏



参加者：95名

※ 参加者アンケートの集計結果は別紙をご参照ください。

ディスカッションしている風景



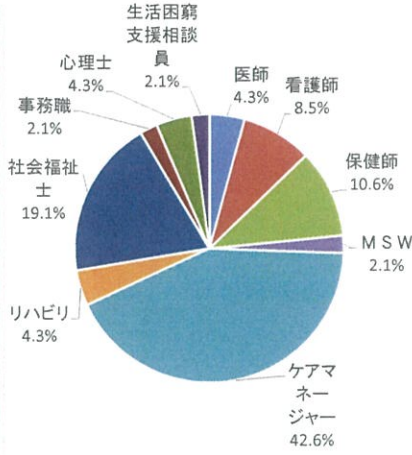
平成30年度 那覇市在宅医療・介護連携推進事業 セルフ・ネグレクトに関する研修会アンケート集計結果

日時:平成31年1月11日(金) 午後7時00分～8時30分
場所:那覇市医師会・4階ホール

参加者:95名
回答者:45名
回収率:47.3%

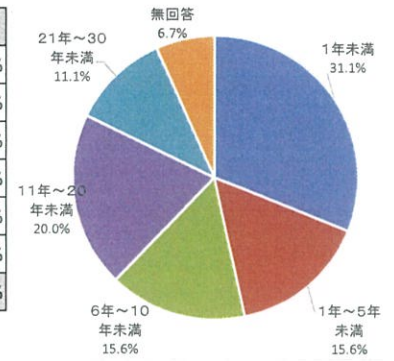
アンケート回答者の職種

職種	人数	割合
医師	2	4.3%
看護師	4	8.5%
保健師	5	10.6%
MSW	1	2.1%
ケアマネージャー	20	42.6%
リハビリ	2	4.3%
社会福祉士	9	19.1%
事務職	1	2.1%
心理士	2	4.3%
生活困窮支援相談員	1	2.1%
合計	47	100.0%



アンケート回答者の経験年数

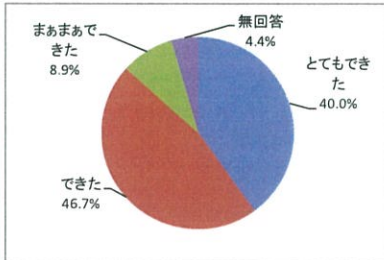
経験年数	人数	割合
1年未満	14	31.1%
1年～5年未満	7	15.6%
6年～10年未満	7	15.6%
11年～20年未満	9	20.0%
21年～30年未満	5	11.1%
無回答	3	6.7%
合計	45	100.0%



※職種の複数回答により、回答数と相違あり。

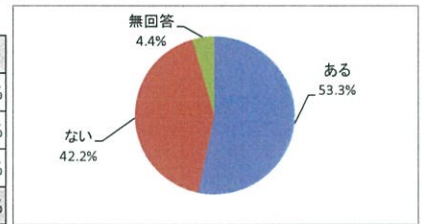
①セルフ・ネグレクトについて理解することができましたか。

選択肢	人数	割合
とてもできた	18	40.0%
できた	21	46.7%
まあまあできた	4	8.9%
無回答	2	4.4%
合計	45	100.0%



②直近1年間に貴施設でセルフ・ネグレクトの対応をしたことがありますか。

選択肢	人数	割合
ある	24	53.3%
ない	19	42.2%
無回答	2	4.4%
合計	45	100.0%



③セルフ・ネグレクトの対応で困ったことがありましたら教えてください。

- ・まだ関係をつくるに至っていないので、まずは訪問を続けつつ、専門職チームでプランを再考したいと思う。
- ・自覚させるためのアプローチ方法をどうしたら良いのか困った。
- ・病院受診を拒否している方、食事をきちんと摂らない方、介護サービスを拒否している方などの対応について困った。
- ・信頼関係の構築をどのようにすれば良いか困った。
- ・ご家族様に会わせてくれない、会うと困ると拒否するので困った。
- ・生活苦でサービスを利用しないような気がする時に困った。(ご本人は支援されたくない気持ちがある)
- ・60～64歳の方は包括支援センターが制度上対応しない(できない)。居宅へ依頼しても拒まれることがある。高齢単身、家族疎遠、生活保護、多問題ケース、本土から移住の方など、制度になんとか繋げられる糸口を探し続けている。
- ・近隣の方々から包括の責任で、役所の責任で強制して解決すべきだと直訴されたが、「申し訳ないがそこまでは責任はない」と切り捨てるので胸が痛かった。地域の人々に共感したいが、本人の立場を守る姿勢と地域が対立している段階では、地域と包括が対立しているかのような感じがした。
- ・地域の方から「心配だから支援してほしい」と依頼があるが、なかなかサービスに結び付かない。本人が困った時に振り回される。
- ・病院も支援も拒否、病院も行政も嫌いの方がいたが地域の人の見守りが可能になった。しかし、今も良い状況ではない・・・。
- ・同居している家族がサービスを拒否する。面会を拒否するので困った。
- ・経済的な理由からサービス導入を拒否、お金を使いたくない、病院へ行くことも拒否していたことから、生命に関わる状態だったため、救急車を呼んだが来てくれなかった。
- ・病気の娘さんのことが心配で入院して治療してくれないケース。

平成30年度 那覇市在宅医療・介護連携推進事業
セルフ・ネグレクトに関する研修会アンケート集計結果

日時:平成31年1月11日(金) 午後7時00分～8時30分
場所:那覇市医師会・4階ホール

参加者:95名
回答者:45名
回収率:47.3%

- ・明らかに体調不良で病院を受診すべき状態だと感じたが断固として拒否されたケース。
- ・親子三代で母子家庭でゴミ屋敷暮らし(20年以上)。アパート建て壊しに伴い、別のアパートに引っ越したが、再度ゴミ屋敷状態と支援拒否。子供(中学生)も衛生観念がないケースで、この子の見守りに苦労している。
- ・不定愁訴に近い体調不良の訴え(基礎疾患のフォローも不十分であった)で「今日は入院したい」と要望があったのでお迎えに行ってみると「今は行かない」で何度も振り回されて正直頭にくることがある。
- ・家族それぞれがセルフ・ネグレクト状態であったため、環境を整えるように話を進めてもなかなか受け入れてもらえなかった。
- ・家族と住んでいるセルフ・ネグレクトの方の指導で困った。家族の協力が全くない。あるいは家族が邪魔する傾向があり困る。
- ・室内にゴミが多く積もって座る場所もないところで夫婦が暮らしている。夫婦共ゴミについて何とも思っていないため、支援に困った。今でもゴミ屋敷に住んでいるので、アプローチ方法について教えてほしい。

④演題:『セルフ・ネグレクト～支援を求めない人にどう対応するか～』について 講師:岸 恵美子 氏

- ・今後、地域の方々と関わっていく視点として参考になった。
- ・虐待→措置入所。セルフ・ネグレクトの判断基準、措置入所に至る基準は市町村によって違うのか?これは緊急でないと言われたり、病院でも病状的に緊急入院が必要ではない場合にその方の居場所はどうか?
- ・セルフ・ネグレクトという言葉は聞いたことあったが詳しく知らなかった。心理職なので直接訪問することはないが、カウンセリングの中でセルフ・ネグレクトのサインをキャッチすることができれば支援の幅が広がると思った。これからの高齢化社会に向け、一人でも多くの方にセルフ・ネグレクトの認知が広がればと思った。
- ・孤独や孤立がセルフ・ネグレクトの状況にあるのは知っていたが、身体疾患や障害がある方もセルフ・ネグレクトの状況があるとは思わなかった。対応方法も具体的で理解しやすかった。相手の立場に立って相手の価値観で信頼関係に繋げる事が大切だと感じた。
- ・セルフ・ネグレクトの状態にある方は、ただ単純に本人だけの問題ということではなく、周囲の人間の関わり方や認識も見直していく必要があると学んだ。今回初めてセルフ・ネグレクトという言葉を知って様々な事例や様々なタイプの人がいることを知ることができたので、今後の関わりに活かしていきたい。
- ・人から見るとゴミでも、その人にとっては大切なもの。自分の価値観ではなく、その人が大切にしている価値観を大切にすることで信頼関係の構築に繋がると感じた。
- ・岸先生のお話しがとても分かりやすく、経験を基に具体的なアプローチ方法を教えていただいたので参考になった。定期的には是非お話しをお聞きしたい。
- ・セルフ・ネグレクトのアプローチ方法や関係機関との連携の必要性、支援計画の大切さを考えさせられた。
- ・関わりを拒んでいる人に対して、行政以外で関わっていくことは難しい。(家族がいれば別だが)
- ・事例検討(共有)を入れた方がより分かりやすかったと思う。
- ・ご本人の信頼関係をつくるのに時間がかかるということを知ると近隣の方は心配で待てないという状況がある。地域の協力を得ることはすぐには難しい。どういう関係機関がどういう連携をして、実際にどのように支援していくかという事例がまとめられたものがあれば是非参考にしたい。岸先生の書籍も読んで勉強したいと思った。
- ・粘り強く手を差し伸べる必要性は分かっているが、なかなか他職種と連携できずに疲弊している。関係者の役割を再確認し、一人で抱えない職場にしていきたい。
- ・時々、住民に電話して「大丈夫だから」とよく言われるが、大丈夫は拒否のサインということも頭に入れて再度訪問の必要性があることを学んだ。
- ・現在、実際にセルフ・ネグレクトに移行する可能性を持った方がいるので、今後の対応方法の参考になった。
- ・ここ最近では本当によくあるケースなので、もっと時間をかけて岸先生の講演を聞きたかった。(具体的事例やアプローチなど)
- ・セルフ・ネグレクトの方の対応でモチベーションが保てなくて、心が折れそうになったりする。
- ・セルフ・ネグレクトの背景には様々な要因があることを学び、価値観やその方の思いに寄り添わない、支援者の押しつけにならないような関わりを心掛けていきたいと思った。
- ・セルフ・ネグレクトの方が入院してきた場合はリハビリとしてどのようなアプローチを行えば良いのか?医療機関で行なえるのは身体機能を向上することくらいしか思いつかない。退院後にそうならないためにもアプローチ方法があれば教えてほしい。
- ・セルフ・ネグレクトの方の支援の目標は「ゴミを片づけること」ではなく人との関わり、孤立化させないことと考えていいのか?
- ・クレプトマニア(窃盗症、窃盗癖)など本土で話題になっているテーマも聞いてみたい。